

我々を裏切るもの

かつて、ブルガリアで「建国の父」と呼ばれ、  
第二次世界大戦における反ファシズムの戦いの英雄であった  
ゲオルギ・ディミトロフが、次の言葉を残しています。

次にファシズムがやってくる時、彼らは、  
「反ファシズム」を掲げてやってくるだろう。

このディミトロフの言葉は、  
全体主義的な政治勢力の持つ  
「大衆宣伝の巧みさ」に警鐘を鳴らした言葉に聞こえます。

しかし、第二次大戦後に彼が建国した  
ブルガリアという社会主義国が、  
それからの数十年間に歩んだ道を振り返るとき、  
我々は、このディミトロフの言葉に、  
深いアイロニーを感じざるを得ません。

そして、その感懐とともに、  
彼の言葉が真に意味しているものに気づくのです。

この言葉は、全体主義的な政治勢力の  
「大衆宣伝の巧みさ」に警鐘を鳴らしたものではありません。

この言葉は、全体主義的な政治勢力に無防備な  
「大衆意識の危うさ」に警鐘を鳴らしたものであったのです。

自分自身ではなく、  
自分以外の誰かが、  
この国を変えてくれる。

我々の中に根深く存在する  
その「依存心」を土壌として、  
いつも我々は、  
我々を裏切るものを育ててしまうのです。